



図2 銀含有ハイドロファイバーの使用例

A: 広範囲な足潰瘍で踵部は骨髄に達している。  
 B: アクアセル®AG エクストラ (以下アクアセル®) 10×10 cm を2分割し、傷に貼付後ガーゼと包帯で固定し毎日交換。  
 C: 滲出液を吸収したアクアセル®は溶け崩れなく除去が容易である。  
 D: 肉芽形成良好で創の縮小も認める。



図3 足部のガーゼ類固定と保護

足背は皮膚脆弱な場合が多いため、皮膚刺激の少ないサージカルテープを最小限使用してAのように仮止めする。足趾にも圧迫がかからないようにドレッシングを巻いてテープで軽く固定し、Bのように圧迫をかけないように伸縮包帯で固定する。分厚く包帯を巻くと靴が窮屈になるため注意する。

る(図2)。

### ガーゼ、パッド類と固定の方法

足底や足趾に創傷があり、歩行したり立位をとることを原則に考えると、ガーゼ、パッド類が容易にずれたり外れたりしないような固定の方法が望ましい。つまり、図3に示すように創に貼付したガーゼ類全体をカバーするようにテープ固定する。また足底の潰瘍では免荷が必要であり、フェルト絆などを用いる場合が多いが、フェルト絆のほうが創のドレッシングよりも高さが出るようにする必要があるので、貼付するガーゼ類の厚みは必要最低限にする。

### テープや包帯による固定

糖尿病患者は皮膚脆弱でテープかぶれを起こしやすい患

者が多いため、テープを用いる際は被膜剤をあらかじめ塗布するか、剥離剤を用いて愛護的にテープ除去することが望ましい。また血流を阻害しないために足趾の創をテープ固定する際は図4-Aのように行う。テープを足趾に1周巻きつけると阻血となり、新たな皮膚損傷が発生する可能性があるため注意する。

皮膚脆弱な患者にはテープ使用量を最低限にし、創の保護を兼ねてガーゼの上から伸縮包帯を巻くが、強く圧迫しないで転がすように巻く。また患者の履物を考慮し、靴や治療用サンダルが履ける程度の厚さに包帯固定する。

また滲出液が多い創傷の場合は毎日交換しても滲出液の染み出しがみられる。この場合は大判の吸収パッドや紙製平オムツなどで足を包み込む。

A 正しい貼付法



B 間違った貼付法



図4 足趾先端のテープ固定

足趾先端にテープを貼付する際は足趾に巻きつけると阻血になるため、Aのようにかぶせるように使用する。もしくはらせん状に貼付する。カット絆が長すぎる場合は両端をカットして使用する。Bのように巻きつけて貼付すると、血流障害を招きやすい。

表3 フットケア外来初診時のチェック項目

- ✓ 治療中の基礎疾患、併存疾患があるか？  
→ とくに糖尿病、透析、血流障害、膠原病、悪性腫瘍
- ✓ 自分で安全に爪ケアができているか？  
→ 誰が爪ケアをしているか？
- ✓ 角質肥厚、胼胝、鶏眼は月に2回以上ケアが必要か？  
→ 月2回の受診が可能か？ 安全なセルフケアは可能か？
- ✓ トータルケアにどの程度時間がかかりそうか？  
(複数趾、肥厚爪、多発性胼胝など)
- ✓ 爪白癬、足白癬の可能性はないか？  
→ 疑わしい爪、皮膚病変はKOH検査で確定  
→ 抗真菌薬の継続使用は可能か？

来初診時のチェック項目を示す。

## フットケア外来運営に必要な物品

足病変の予防、再発予防を主目的としたフットケア外来を運営するにあたり、準備すべき物品を紹介する。

### 糖尿病神経障害のアセスメントに必要な物品

糖尿病神経障害の評価は足病変リスクの判断に不可欠である。フットケア外来初診時には必ず神経障害を評価する。図5に神経障害アセスメント用具を示す。使用方法については他の文献を参照されたい。

### フットケアに必要な物品(図6)

#### 爪切り用ニッパー

足趾の爪はスクエアオフにカットするため、直刃タイプが使用しやすい。サイズは約13.5 cmもしくは11 cmが標準的に用いられるが、肥厚爪には15 cmの大サイズを用いる。また特殊形状のニッパー(SUWADA)も肥厚爪を切るのに用いることができ、切れ味がよく二枚爪になりにくい。このほか先の細い角切りニッパーや巻き爪用ニッパーなどもある。

#### 爪用ゾンデ

爪郭と皮膚の境界を確認したり、爪周囲や爪内部の角質を除去したりするのに使用する。先端がやすり状になった巻き爪ゾンデは巻き爪の角を削る。

#### 爪やすり

爪切りをした後、滑らかにする。金属製がより削れるが、ガラス製のほうが皮膚を摩擦で傷つけにくい。糖尿病や浮腫のある足趾には適している。

#### コーンカッター

胼胝や角質肥厚を削るのに用いる。両刃あるので途中



図5 神経障害アセスメント用具

- A: 5.07モノフィラメント。圧覚の評価に使用する。  
B: 128 HZ音叉。深部の神経障害、振動覚の評価に使用する。  
C: アキレス腱反射用打鍵器。先の丸い、大きめのタイプが使用しやすい。

## 予防・再発予防ケア

糖尿病フットケア外来では主に足病変の予防や再発防止に主眼を置いている場合が多い。表3にフットケア外